

2026年 6月末現在
組合員 4,322人
出資金 1億7,236万円
5～6月の動き
組合員 新規加入21人
脱退23人



第153号

2026年7月10日発行
(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

第25回通常総代会開催

総代・役職員など134人が出席

いっそうの経営改善・地域まるごと健康づくり・組織の強化をめざす活動方針を活発に議論

6月28日、大垣市情報工房リンクホールにて通常総代会を開催し、総代81人とオブザーバー2人、役職員50人あわせて133人が出席しました。13時30分総代会開会にあたり、黒田理事が今総代会が

定款に基づき出席定数を満たし成立していることを宣言し、議長に揖斐支部小倉文雄総代と北支部小林敬子総代を選出して議事が始まりしました。

木村隆之理事長の開会挨拶の後、全岐阜県生活協同組合連合会の根崎周一会長理事から来賓挨拶をいただきました。

理事会を代表して中村英洋専務理事が5つの議案を一括提案しました。監事監査報告は高田一朗監事から行われました。

議案に対する全体討議は、総代2人、理事1人、事業所5人から発言がありました。全体討議のまとめの後、全議案が賛成多数により可決されました(関連記事2・3ページ)。

今年の健康まつりは10月25日(日)介護センター・診療所を会場に開催します。実行委員会開催に向け準備を進めています。皆さん、ぜひご参加ください。

せ い り ゆ う

高市自維政権の「日本を強く豊かに」「責任ある積極財政」という掛け声のもと、国民の暮らしをないがしろにし、大企業や富裕層の利益拡大や軍備増強を図り、医療・介護をはじめ社会保障を削減・抑制する動きが加速しています▼OTC類似薬の保険適用除外、高額療養費の自己負担上限引き上げ、介護事業の人員基準緩和や自治体事業化を進める「特定地域サービス」の創設など、健康・介護保険制度の改悪が強行されました。物価上昇による事業費用の高騰、診療・介護報酬の抑制、生活困難や負担増大に伴う受診や介護利用の抑制という事態が西濃医療生活協の経営困難を増大させています。それは他の多くの医療・介護事業にも共通するものです▼高市自維政権の政策路線は、国民の願いとはかけ離れたものであり、決して安定した強固なものではありません。先般の朝日新聞・東大(谷口研究室)の「有権者向け共同調査」によりますと、もっとも優先的に取り組んでほしい12の政治課題の中の圧倒的最多は「年金・医療・介護」の38%であり、続いて物価対策を含む「財政・税制・金融」の17%です。「改憲・護憲を含めた」憲法はわずか1%にとどまっています▼それにもかかわらず、「全世代型社会保障」「現役世代の負担軽減」「手取りを増やす」「経済成長が福祉の前提」「給付の効率化・重点化」などの掛け声が、国民意識に広く浸透しています。それが、国民、とりわけ若い「現役世代」が社会保障の削減・抑制を受容していく大きな要因にもなっています▼今こそ、私たち西濃医療生活協が掲げてきた理念「最後まで住みなれた地域で自分らしく生きることを可能にする医療・介護事業の創造」や「地域まるごと健康づくり」にもとづく事業や活動の発展が求められています。それは、医療・介護をはじめ社会保障の将来像、さらに地域社会、ひいては日本の将来像を具現化していく道にもつながっているからです。

理事長 木村隆之

中村専務理事から5つの議案を提案

全議案が賛成多数で採択されました

第1号議案

活動報告と決算

①健康で平和に暮らせるまちづくり

班活動、外に出る活動、平和を守る活動などに取り組みました

班活動では、新しく4班ができ、年間389回の班会を開催。新たなつながりが広が



りました。「地産地消のつどい」など地域行事への参加を広げ、医療生協の「見える化」を進めました。平和を守る活動では国民平和大行進、広島ツアー、上映会、語り継ぐ紙芝居などに取り組みました。

②最後まで自分らしさを実現できる医療・介護

患者・利用者サービスの向上をめざす事業運営へ、学習と実践に取り組みました

専門委員会活動など、職員と組合員の協同でサービス向上に努めました。理念に基づく事業活動の実践のため「医療福祉宣言」の改定に取り組むとともに、6事業所で働く職員間の連携強化のために「チームしずさとプロジェクト会議」を開始しました。

③組織の拡大強化と「ともに学び・育ちあう」人づくり

仲間ふやし・出資金ふやし
新規加入95人に対し脱退113人で純減18人。4328人に減少しました。出資金は脱退・減資により976万円減少しました。

地域組合員と職員組合員の関わり

り強化に取り組みました

「最後まで自分らしくの実現をめざし医療生協の医療・介護事業所のいっそうの連携をすすめるよう」をテーマに組合員活動交流集会を開催し、職員と組合員が同じテーブルで意見交換を行いました。また、協同で地域訪問行動などに取り組みました。

④2025年度決算報告

経常利益▲1547万円の減収減益決算について報告があり、高田監事から監事監査報告が行われました。

第2号議案

活動方針と予算

①健康で平和に暮らせるまちづくり活動

*健康づくり、たすけあい活動の発展で、地域のつながりと組合員参加を広げる

*岐路に立つ平和の課題に向き合い、支部や地域での取り組みを進める

②最後まで自分らしさを実現できる医療・介護活動

*第2次中長期計画の実現めざす医療・介護事業の実践と中長期介護事業計画の実現に向けて取り組み

③組織の拡大強化と「ともに

学び・育ちあう」人づくり

*200人以上の仲間ふやしを目標に取り組む

*支部や班の運営委員、機関紙配布などの担い手ふやし

*地域組合員と職員組合員の協同強化のための取り組み
*私たちの医療生協を上げ・強めるための人づくり

④2026年度予算

*予算達成し単年度黒字化を実現する

*医療生協の理念、民医連の綱領を実践する事業活動をすすめる

第3号議案

役員報酬決定の件

役員報酬規定で定める基準に基づき、常勤の専務理事および常務理事2人の全3人の報酬総額を年間3100万円の範囲内とします。

第4号議案

役員退任慰労金の件

今総代会で退任する4人と期中に逝去された理事1人に慰労金を支給します。

第5号議案

役員選挙の件

任期満了に伴う役員選挙を行いました。役員選挙管理委

員会の宇津時雄委員長より、5月に実施した役員候補者の受付、受け付けた候補者の名簿について報告があり、役員候補者資格審査委員会の松岡恵子委員長からは審査の結果、候補者全員が資格を有しているとの報告がありました。理事・監事ともに定数の範囲内であることから、投票を省略して全員当選となりました。

今回の選挙では、理事24人中22人が留任、新任で選出されたのは2人で、支部推薦の葛野法林さん、古橋和仁さんです。監事2人は留任です。

《新役員》

理事長 木村隆之(留)
専務理事 中村英洋(留)
理事

柄澤正人(留) 松岡和彦(留)

笹田参三(留) 水野明典(留)

水島弘子(留) 堀井聡至(留)

青木公二(留) 木村 航(留)

古川正裕(留) 川村一郎(留)

葛野法林(新) 関 豊明(留)

中尾恵美子(留) 宮川恵子(留)

高木正一(留) 大橋保子(留)

笹田トヨ子(留) 川地幸弘(留)

山河由美子(留) 古橋和仁(新)

岡崎和子(留) 野津京子(留)

監事

大橋泰子(留) 高田一朗(留)

全体討議で9人が発言



全体討議でフロアからの発言の様子

5月に開催した総代会議において、議案を深めるための意見交換を行いました。その中で、特に医療・介護の事業に関する意見や質問が多く出されていたことから、各事業所からそれらに答える形で発言が行われました。

診療所柄澤所長からは、医師体制の充実に向けて発言がありました（内容は下囲み記事をご覧ください）。

診療所水野事務長は、健診や予防接種の取り組みを強めてほしいという要望に対して、健診メニューの改善やお知らせを増やすなど強めていきたいとの発言のほか、院外処方せんに移行した成果や課題、

ネット予約などについて発言しました。

リハビリテーション科の伊賀並理学療法士からは、大垣市の介護予防・日常生活支援総合事業の短期集中プログラムに関わった経験について報告がありました。これに関わって寺倉作業療法士が、岐阜県作業療法士学会・最優秀演題賞を受賞したことの報告もありました。

訪問看護ステーション水島所長からは、最初に訪問看護師の退職に伴い、利用者・家族、関係機関の皆さんに多大なご迷惑をおかけしたこと

お詫びがありました。また、24時間対応を含めた再開に向けた取り組みについて発言がありました。

介護支援事業所木村課長から、不破事業所休止にいたった経緯について報告するとともに、現在、垂井町にある事務所は、組合員活動室とともに残し、相談活動はじめケアマネ業務は継続するとの発言がありました。

このあと、組合員からの発言に移り、川村理事より、今年の健康まつりの開催日程を10月25日にすることや趣味を活かした班活動（健康麻雀や

盆おどり同好会）の活動について、自分の好きなことをやっているだけでも、みんなであることで地域を盛り上げる力になると発言がありました。

赤坂支部の宇津総代は、現在、政府の社会保障削減のもとで医療介護の環境が大変厳しくなっている一方、軍事費は急激に増大、軍事費が増えれば福祉は削られるというのは歴史の常と、政治の状況について発言しました。訪問看護ステーションの職員退職に伴う縮小の背景について、客観的な分析を行うこと、あわせて診療所リニューアルをめ

ざす経営改善が必要であると指摘がありました。組織の課題では組合員ふやし、出資金ふやしの取り組みを強化しようと呼びかけました。

中央支部の繁澤総代は、大垣市における公共交通について、特にドアツードアを必要とする高齢者・障害者の移動支援がない。医療生協が行っている福祉有償運送が唯一で、市議として大垣市が補助をするよう要望している。福祉分野にもっと目を向け住みよいまちづくりめざすよう医療生協とともに頑張っていきたいと発言がありました。

診療所の医師体制
7月から鈴木圭先生
が診療に加わります

総代会の中で、柄澤所長から今後の医師体制について発言がありました。どり病院から参りました。「皆さんこんにちは。みどり病院から参りました。内科の鈴木と申します。要請を行ってききましたが、みどり病院では10年近くようやく実現することができました。みどり病院で勤務されている鈴木先生です。7月から月曜、木曜、金曜の週3日ですが、午前診療と午後の訪問診療に、月曜日は夜診にも入っていただくことになりました。鈴木先生を紹介します。」

今総代会で退任された4人の方々の長年
のご尽力に感謝し、花束を贈りました

写真左から 正岡礼子さん、長屋由利子さん、齋藤葉子さん、黒田晶子さん

しずさと診療所 リハビリテーション科

外来リハビリのご案内

診療所では、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、リハビリ助手3名で、月曜日から金曜日の午前中に外来リハビリテーション（医療保険対応・予約制）を行っています。

現在は月に約45名の方にご利用いただいております。腰や膝の痛み、骨折後の機能回復といった整形外科疾患から、脳梗塞・脳出血後の歩行障害や手の動かしにくさ、ことばの

障害まで幅広く対応しています。

具体的支援として、理学療法で歩行や体力の向上、作業療法で日常生活動作の改善、言語療法でコミュニケーション能力の維持・向上をめざします。「以前のように歩きたい」「家事や趣味を続けたい」といったお悩みがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。ご利用には医師の診察と指示が必要となります。

私たちは、単に疾患や身体機能だけに向き合うのではなく、日々の関わりを通じて「その人らしさ」を引き出すことを何よりも大切にしています。最近では、外来リハビリをきっかけに一歩を踏み出し、医療生協の「囲碁班会」に参加されるようになった方も2名おられます。

これからも、患者さま一人ひとりの目標や生活環境に合わせ、住み慣れた地域で安心して暮らす続けられるよう、医療生協の班会やNPO西濃たすけあいとも協同していきま

〈出資金増資のお願い〉

現在リハビリ室で使用しているトレーニング機器は、購入から14年が経過しました。介護通所リハビリテーションでも使用しており、多くの方の運動に不可欠なものです。今後も皆様に安心して効果的なリハビリを継続していただくため、トレーニング機器の入れ替えを計画しています。

地域の健康を守り、リハビリ環境の充実のため、トレーニング機器購入資金にあてる出資金の増資に、皆様からのご協力を心よりお願い申し上げます。

目標金額は500万円です。



しずさと診療所 所長 柄澤正人
リハビリテーション科担当 青木・吉井
《問合せ先》0584-93-1179

介護予防 短期集中プログラム

「がきプロ」同窓会

5月26日、リハビリ科予防支援チームは、介護予防・日常生活支援総合事業「おおがき



元気UPプロジェクト（がきプロ）の卒業生が集う同窓会を開催しました。

今回は、医療生協の川村一郎理事の協力で、「ひまわり喫茶」を開き、同窓会との嬉しいコラボレーションが実現しました。

特別ゲストとして、安八町在住の日比野宗夫さん（ハンドメイド夢宙工房）をお招きしました。日比野さんは

20年前に大病を患うも奇跡的に克服され、現在は「縁を大切に、地域を盛り上げたい」という熱い思いから、

インスタ登録会

6月2日と9日に組合員活動会議室にて開催し、12名の方が参加しました。登録から操作



作方法の説明に「わからないわ」「他の人にちゃんと教えられるかしら？」そんな声も聞かれました。みなさん真剣な表情で一つひとつ操作を確認し、登録が完了すると「できたー！」「これで見られるね」と笑顔もあふれ、楽しい登録会となりました。

新しいことに挑戦するのは少し勇気がいりますが、みなさん熱心に取り組み、しっかりとインスタグラムを見られるようになりました。班活動の写真も投

稿でできることを伝えると「スクエアステップの写真を持ってこようかな」と言われる方もみえました。

Instagramを通して、各事業所や職員、組合員さんの活動を見える化し、お互いを身近に感じる情報発信の場に行きましょう！



全11支部が総会を開催

あなたも支部の運営委員会に参加し、健康づくり活動をご一緒にすすめませんか

西濃医療生協は、11の地域に支部をつくり、健康づくりやたすけあいの活動を行っています。それぞれの支部が総会を開催し講座や上映会など行いました。そのうち5支部の様子を紹介します。

不破支部

総会と上映会を開催

5月16日ワイワイプラザ垂井で総会と垂井町地域包括支援センター出前講座の映画上映を行い、34名が参加しました。垂井町では認知症啓発活動として、



映画上映をすすめています。今回の「オレンジ・ランブ」は39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された男性の実話をもとにした映画です。若年性認知症は推計で3万5千人ほどの患者がいるといわれています。

働き盛りで家族を支えているため、仕事を辞めるわけにはいきません。病気に気付きにくく、人にも言いづらいなどの葛藤もあります。自宅への帰り道が分からなくなった夫が、迎えに來た妻にすがって泣くシーンに、涙なしでは観られませんでした。でも、彼は職場のみんなに認知症であることを打ち明け、協力を得

て、仕事を続けます。困った時は人を頼り、周りに協力してもらうことで認知症でも人生をあきらめなくてもいいんだと彼はメッセージを送ります。

映画終了後、包括支援センターから服やカバンに付けるQRコードのついた見守りシールや多角的な支援サービスの説明もありました。

認知症になっても悲観せず、みんなに助けてもらいながら暮らしていけたらと思います。また、わたしたちも認知症に対する理解を深め、やさしい社会をつくっていくことも大事だと感じました。

山河由美子

大垣中央支部

5月14日、大垣市老人福祉センター和室での支部総会の前に「落語で笑おう会」を企画し、演目「ねずみ」を夢乃屋馬笑師匠（早崎静香さん）に演じてもらいました。



馬笑師匠は出陣子にのって登場し、高座の座布団に正座し、おもむろに羽織を脱いで落語は始まりました。もうこの出だしで私たちは落語の世界に引き込まれました。

客引きの子供に連れて来られて「ねずみ屋」の面をしながら、この企画は成功だったと思いました。

大橋保子

大垣西支部

5月24日、介護センター多目的室で総会を行った後、大垣市出前講座「人生会議」を開催、16人が参加しました。

私は、人生会議とは「終活」を考えるテーマなのかと思っていました。

最初に、大垣市民病院の中島医師から「わたしの想いからはじめる人生会議」と題してお話があり、「もしバナゲーム」を行いました。

た。

4人1組でカードをめくり、自分の思いと同じカードと交換。5周して手元に残ったカードが「私の思い」のこと。先生のお話の「自分で選択して生きてきた」について、必ずしも自分の意志での選択ばかりではなかったことも多いように思います。カードの内容の吟味で、より深いものにできるような気がしています。

川村一郎

宇留生支部

総会とスクエアステップ

5月24日、青墓地区センターで総会とスクエアステップを行い、14人参加しました。私たちの支部は、毎月1回班会会としてステップを踏んでいきます。もっと多くの方に参加してもらいたいという願いから、今年度は、総会開催に合わせ、広くお

声掛けをして、体験して

いただくことにしました。当日は指導員の玄さんのもとで初めての方も交え、元気で楽しいひと時を過ごしました。

そのあとで茶話会を開き、現在困っていることや医療生協が今取り組んでいること、今日の感想などを話し合いました。いろいろお話ができてよかったと思います。

宮川恵子

赤坂支部 総会と健康サロン

5月21日、青墓地区センターで開催し18人が参加しました。

健康サロンのテーマは、身近な市政について「知るとこないことが分かるよ」でした。講師は医療生協の元職員でもある繁澤大垣市議。65歳以上車の運転ができない人にバスチケット1万円分の配布が始まっていること、有料ゴミ袋の形態・容量の改善、学校トイレの洋式化、ガキペイカードの利用状況と有効期限が8月末までであることなど、身近に利用できる制度について分かりやすくお話いただきました。

宇津時雄

揖斐支部・健康講座

3月12日に池田町中央公民館で健康講座「認知症について」を行いました。

講師は、しずさと介護支援センターのケアマネ鴨さんと木村さんでした。

事前に支部より認知症についていくつか質問を送ってありました。認知症の検査は西濃厚生病院や大垣市民病院でできると、岐南町の「おくむらメモリークリニック」という病院も教えていただきました。うつや難聴も認知症と間違われる可能性があること、認知症に処方される



薬のことなど、参加者の質問にもたくさん答えてくださいました。大垣からも組合員の方々が来てくださり30名近い参加がありました。

松岡律子

山楽会

日にち 7月13日(月) 雨天中止

行き先 鎌刃城跡(米原市番場 標高384m)

山頂に築かれた戦国時代の典型的な山城。東西、南北とも400mと小谷城に次ぐ規模を誇る。石垣、曲輪、堀切、竪堀など遺構が多く、国の史跡にも指定。

集合場所・時間 しずさと診療所 8:00

持ち物 弁当、お茶、雨具、帽子、杖、登山靴

会費 200円+交通費400円

問合せ 梅村民雄 090-4232-9057

杉野茂樹 080-9832-3399

※日程変更する場合あり。詳細は問合先まで

※猛暑が予想されますので、ウォーキングの会は7月8月お休み、山楽会は8月お休みです。

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

日にち

7月 9日(木) 15日(水) 21日(火) 30日(木)

8月 4日(火) 12日(水) 20日(木) 26日(水)

9月 2日(水) 11日(金)

※それぞれ12時半プレー開始

※35度以上の猛暑日は中止します

場 所 三城公園 ソフトボール場

問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227



ボランティア委員会

ボランティア委員会は、6月11日に組合員活動会議室で「ボランティア学習会」(大垣市出前講座)を開催し、19人(組合員17人・職員2人)が参加しました。

ボランティア学習会に

参加して

私の園芸福祉活動や草取りボランティアは「花が好き」「人が好き」が源になっています。好き

なこと、やりたいことを自分の意志で始めたのでボランティアを楽しみながら続けられています。活動をおして味わえる充実感や学びだけでなく、人とのつながりが広がったことも喜びの一つです。学習会に出席してボランティア活動の意義を再確認し、元気なうちはできるだけ長く活動を続けていきたいと思います。

三宅喜美代

健康委員会

健康チャレンジ参加ありがとうございました

今回は176人の参加で、初めての方が27人でした。年齢層は70歳以上が145人、70歳未満が31人でした。

目標を「達成できた」「まあまあできた」と回答されたのは82%にあたる145人でした。

100人の方から感想が寄せられました。その

一部を紹介します。

●目標に向かって一日一日意識しながら生活をするようになると、自然に体を動かすようになり、前向きになれてよかった。
●出来るだけ多く無理のない歩数で続けようと思いました。記録すること、励みにもなりました。続けることが大切だとも改めて思いました。
●思うようにできなくて難しかった。

健康講座「お薬のはなし」

日にち 9月19日(土) 14:00~15:30

場 所 組合員活動部 会議室

講 師 静里しいのみ薬局

薬局長 谷 知彦 さん(薬剤師)

*詳しくは本紙折り込みチラシをご覧ください。



2026 国民平和行進

国連「核兵器禁止条約」に

日本政府も署名・批准を

5月6日に東京夢の島・第五福竜丸展示館前を出発した「国民平和行進・東京→広島ルート」が、6月15日夕刻に大垣市に入り、翌16日は、大垣公園から出発し、垂井宿長浜屋を経由し県内最終地である関ヶ原町ふれあいセンターまで行進しました。

出発集会では大垣市長の代理、垂井町での歓迎集会では町長、関ヶ原町での引き継ぎ集会でも町長が参加され、メッセージを寄せていただきました。
西濃医療生協では、患者・利用者さんにも協力をお願いし、職員も加わって折り鶴を作り、千羽を束ねました。途中の休憩所で、利用者さんもしっかりと千羽鶴を手渡し、行進者に平和への願いを託しました。今年も大垣市内から関ヶ原町までの間に職員が6人参加しました。



県内最終地関ヶ原町で職員2人(両端)と県内通し行進者の中村元職員の3人で

原爆と人間展



～戦後81年！今も続く被害の実相～

と き 7月25日(土)・26日(日)
両日とも9時～15時

ところ スイトピアセンター3階展示室

- ◆ヒロシマ・ナガサキ「原爆と人間」パネル展示
- ◆広島の高校生が描いた「原爆の絵」展示
- ◆被爆稲の展示

子どもとおとなの平和広場

と き 7月26日(日) 10時～15時

- ★寺ちゃんのピースソング(伊舞木座)
- ★被爆体験者の話を聞いてみよう
～岐朋会の方のお話&紙芝居～
- ★被爆2世として&平和行進報告
- ★体験・交流コーナー
 - ・体験者と交流
 - ・絵本、折り鶴コーナー
 - ・スタンプラリーにチャレンジ

主催：日本被団協 岐阜県原爆被害者の会
西濃ピースフェスティバル実行委員会

後援：大垣市教育委員会

問合先 0584-73-8222 大垣おやこ劇場
※月・水・金 10時～17時

090-2689-3438 西濃教育会館 山岸

不破支部 平和の集い

8月6日(木) 9時30分～11時30分

垂井町 明泉寺(垂井町岩手631)

ブレンディさんによるコンサート
紙芝居「たみちゃんのノーモアヒロシマ」
宇田さん(岐朋会)の被爆証言

問合先 伊藤 22-5719 山河 22-4316

お寺で 平和の鐘つき 原爆パネル展 開催

8月6日(木) 10時～

長明寺(大垣市割田1-165-1)

広島に原子爆弾が投下された8月6日。

今年も長明寺で「平和の鐘つき」を行います。

主催：新日本婦人の会大垣支部

上映会 「黒川の女たち」

～なかったことにはできない～

1945年関東軍敗走の満州で待ち受けた、岐阜県から渡った黒川開拓団の壮絶な運命。戦争と性暴力の事実、いま知るべきことがここに在る。

と き 9月6日(日) 13時～

ところ 大垣市情報工房5階 スイंकホール

参加協力券 大人500円(18歳以下無料)

主催：大垣で「黒川の女たち」を観る会

無料**なんでも
生活相談**

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・
親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医
療事故、消費者被害、損害賠償など。提携
弁護士がご相談をお受けします。

日にち： 8月6日(木) 9月10日(木)

場 所： しずさと診療所内

○相談時間： 午後2時～3時 ※1件あたり30分

○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

診療所・介護事業所の草取りボラに 皆さまのご協力をお願いします

日にち 7月26日(日) 雨天の場合8月2日(日)

8月23日(日) 雨天の場合8月30日(日)

※集合時間は午前7時

集合場所 しずさと診療所

問合先 正岡礼子 0584-27-5957

一緒に働く仲間をご紹介いただけませんか？

◎医師 在宅医療に関心のある方

◎訪問看護師 常勤または非常勤

◎介護福祉士・介護士 デイサービス：非常勤

◎非常勤 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

詳細は本部 中村まで 電話 0584-92-3268

ひまわり喫茶 月1回でおためしスタート！

《お手伝いできる方募集中です》

■ 毎月第4火曜日 10時～12時 7月は28日です。

■ 介護センター多目的ホール

■ レギュラーコーヒー 1杯 100円

※介護センター開設後、ボランティアさんが多目的ホール
を使って百円喫茶を始めましたが、しばらく中断してい
ました。

問合先 川村一郎 090-9178-0913

盆おどり同好会 本番決定！

地域の盆おどり行事予定が入ってきました。

7月18日(土) 13時～17時

奥の細道むすびの地記念館2階

8月1日(土) 盆おどりは18時ごろから

綾里地区センターまつり

8月23日(日) 17時～

静里小学校夏まつり

7月31日(金)～8月2日(日) 18時～

水都まつり

7月8月の練習は第4火曜日 13時30分から

予定どおり行います。どなたでもご参加いただけ
ます。 問合先 川村一郎 090-9178-0913

診療所 お盆休診

8月15日(土)～8月17日(月)

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9～12時	第1診	鈴木	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第2診	塩澤	阿川	粕谷	鈴木	鈴木	—
	第3診	—	—	—	—	※1	—
14～17時	訪問診療	柄澤 塩澤	柄澤	柄澤	柄澤 鈴木	鈴木	
17～19時	第1診	鈴木		泉		柄澤	

7月から新しく鈴木医師が加わり、月（午前診・夜診）
木曜（午前診・訪問診療）、金（午前診・訪問診療）を担
当することになりました。

※1 金曜日の第3診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診察

第1・第3土曜は柄澤医師が担当します。

第2土曜は松井医師が担当します。

第4・第5土曜は小林医師が担当します。

エコー検査・栄養指導のご案内

検査技師による心・頸動脈エコー(毎週水曜日)

管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)

※診察時にご相談ください。

<医療生協・医療・介護のお問い合わせは>

▼本部

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

電話 0584-92-3268

▼しずさと診療所

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169

リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-0345

▼デイサービスひのき

〒503-0981 大垣市松町706

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311

▼介護センターしずさと

〒503-0981 大垣市松町1452

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151

・介護支援センター 0584-93-1171

・デイサービスセンター 0584-93-1172

・訪問看護ステーション 0584-93-1173

・ショートステイ 0584-93-1175